

[招待講演]

マルチチャネル立体音響とプロジェクションマッピングシステム 統合による総合芸術への試み

勝本 道哲[†]

現在、波面合成法を用いた立体的な音響表現は、基礎的な研究レベルから実用的な音響制作や音楽制作の研究の段階へ進歩してきている。一方で、映像表現においてプロジェクションマッピングも話題を呼ぶようになってきた。この二つはデジタル信号処理によるコンテンツ制作が必須であり、新しいデジタルコンテンツとして飛躍することが期待できる。そこで、本講演では、波面合成法による最新音響の研究成果を紹介するとともに、それを用いたデジタルコンテンツ制作に関して紹介する。

[†]株式会社勝本総合研究所